

奈良県企業の正社員の採用動向

(第178回地元企業動向調査付帯調査)

【対象企業：個人事業を含む県内313先】

※正社員とは「期間の定めのない雇用契約」を締結した社員（パート・派遣社員などの非正社員を除く）。新卒採用は「各年度4月時点」の、中途採用は「各年度中」の採用を指す。

1. 正社員の採用状況

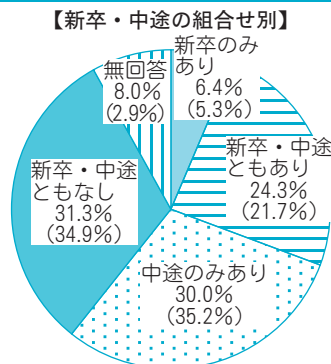
(1) 2018年度・採用実績

■2018年度新卒採用実績は全産業で30.7%、製造業で前年度比9.1ポイント上昇

図表1で新卒採用を見ると、「採用実績あり」は全産業が30.7%で、前年度比3.7ポイント上昇した。業種別に見ると、製造業が35.9%（同+9.1ポイント）、非製造業が25.5%（同△1.6ポイント）で、新卒採用実績は製造業でより積極的な動きが見られた。また、全産業で「採用実績なし」は49.2%（同△20.9ポイント）と大きく低下、「無回答」が20.1%（同+17.2ポイント）と上昇。

■2018年度中途採用は全産業で54.3%、製造業、非製造業ともに前年度比で低下

図表2 2018年度・採用実績の有無



カッコ内は前年度調査の値（以下、同じ）

中途採用を見ると、「採用実績あり」は全産業で54.3%（同△2.6ポイント）。業種別では、製造業が62.8%（同△1.2ポイント）、非製造業が45.9%（同△4.4ポイント）と、製造業、非製造業ともに中途採用実績は低下した。

図表2で新卒・中途の組合せ別を見ると、「新卒・中途ともなし」が31.3%（同△3.6ポイント）で最多だった。

図表1 2018年度・採用実績の有無

(%、ポイント)

	回答企業数	新卒採用						中途採用						
		あり		なし		無回答		あり		なし		無回答		
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比		
全産業	313	30.7	3.7	49.2	△20.9	20.1	17.2	54.3	△2.6	34.5	△5.7	11.2	8.2	
業	製造業	156	35.9	9.1	45.5	△24.6	18.6	15.5	62.8	△1.2	26.3	△6.6	10.9	7.8
	食料品	21	38.1	10.3	47.6	△24.6	14.3	14.3	66.7	△5.6	28.6	0.8	4.8	4.8
	繊維製品	31	32.3	10.4	45.2	△29.8	22.6	19.5	48.4	△7.9	38.7	△1.9	12.9	9.8
	(靴下)	14	21.4	1.4	57.1	△22.9	21.4	21.4	57.1	3.8	42.9	△3.8	0.0	0.0
	木材・木製品	17	17.6	5.1	52.9	△34.6	29.4	29.4	47.1	3.3	29.4	△26.8	23.5	23.5
	化学・医薬品	10	80.0	25.5	10.0	△35.5	10.0	10.0	90.0	26.4	0.0	△36.4	10.0	10.0
	プラスチック製品	22	13.6	△11.4	63.6	△1.4	22.7	12.7	77.3	17.3	18.2	△11.8	4.5	△5.5
	金属製品・非鉄	17	58.8	31.6	17.6	△55.1	23.5	23.5	76.5	△9.9	11.8	△1.9	11.8	11.8
	機械工業	9	33.3	0.0	55.6	△11.1	11.1	11.1	77.8	4.4	22.2	△4.4	0.0	0.0
	その他の製造業	29	37.9	11.3	51.7	△14.9	10.3	3.7	51.7	△8.3	34.5	1.1	13.8	7.1
種	非製造業	157	25.5	△1.6	52.9	△17.2	21.7	18.8	45.9	△4.4	42.7	△4.2	11.5	8.6
	卸売業	32	18.8	3.8	68.8	△16.3	12.5	12.5	53.1	8.1	43.8	△11.3	3.1	3.1
	小売業	19	21.1	△20.6	68.4	14.3	10.5	6.4	36.8	△29.8	57.9	28.7	5.3	1.1
	建設業	42	28.6	△3.9	42.9	△22.1	28.6	26.1	38.1	△1.9	40.5	△17.0	21.4	18.9
	不動産業	12	16.7	16.7	50.0	△50.0	33.3	33.3	16.7	△16.7	58.3	△8.3	25.0	25.0
	運輸業	9	33.3	△3.0	11.1	△52.5	55.6	55.6	55.6	△35.4	22.2	13.1	22.2	22.2
	ホテル・旅館	11	36.4	△9.1	63.6	18.2	0.0	△9.1	63.6	27.3	36.4	△18.2	0.0	△9.1
	サービス業	12	16.7	0.0	41.7	△36.1	41.7	36.1	66.7	0.0	25.0	△2.8	8.3	2.8
	その他の非製造業	20	35.0	1.7	55.0	△6.9	10.0	5.2	50.0	7.1	45.0	△7.4	5.0	0.2
	従業員数	1~9人	63	3.2	3.2	79.4	△11.3	17.5	8.1	12.7	△7.6	68.3	△2.1	19.0
10~19人		57	7.0	5.2	66.7	△29.6	26.3	24.5	42.1	10.6	47.4	△19.3	10.5	8.7
20~49人		82	25.6	3.7	42.7	△33.4	31.7	29.6	59.8	△2.7	26.8	△8.6	13.4	11.3
50~99人		50	44.0	8.9	36.0	△28.9	20.0	20.0	78.0	△4.5	16.0	△1.5	6.0	6.0
100人以上		61	77.0	5.6	21.3	△5.8	1.6	0.2	82.0	0.5	13.1	△4.0	4.9	3.5

「あり」「なし」の全産業平均を10ポイント以上上回る比率の部分に網掛けしている

(2) 2019年度・求人計画

■2019年度新卒求人計画は製造業、非製造業ともに4割強

2019年度の求人計画について、図表3で新卒採用を見ると、全産業では「求人計画あり」が43.1%（前年度比+0.6ポイント）。業種別に見ると、製造業が42.3%（同△3.4ポイント）、非製造業が43.9%（同+4.4ポイント）で、製造業、非製造業ともに水準は同程度だが、前年度と比べると非製造業で上昇している。

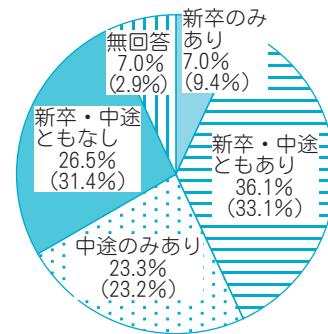
■2019年度中途求人計画は製造業、非製造業ともに6割

中途採用については、全産業で「求人計画あり」が59.4%（同+3.1ポイント）、製造業で59.0%（同△3.8ポイント）、非製造業で59.9%（同+9.6ポイント）と、製造業、非製造業ともに6割だが、非製造業は前年度比で上昇している。

図表4で新卒・中途の組合せ別を見ると、「新卒・中途ともあり」が36.1%（同+3.1ポイント）

図表4 2019年度・求人計画の有無

【新卒・中途の組合せ別】



と最も多い。

新卒採用について、前回調査での「(2018年度)求人計画あり」と、今回調査での「(2018年度)採用実績あり」を比較すると、製造業では「求人計画あり」45.7%に対し「採用実績あり」が35.9%、非製造業では「求人計画あり」39.5%に対し「採用実績あり」が25.5%と、製造業よりも非製造業で特に新卒採用状況が厳しかったことが窺える。

図表3 2019年度・求人計画の有無

(%、ポイント)

	回答企業数	新卒採用						中途採用						
		あり		なし		無回答		あり		なし		無回答		
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比		
全産業	313	43.1	0.6	41.5	△13.0	15.3	12.4	59.4	3.1	29.7	△11.1	10.9	7.9	
業	製造業	156	42.3	△3.4	39.7	△11.5	17.9	14.9	59.0	△3.8	26.9	△7.2	14.1	11.1
	食料品	21	42.9	△1.6	38.1	△17.5	19.0	19.0	47.6	△24.6	38.1	10.3	14.3	14.3
	繊維製品	31	32.3	7.3	41.9	△29.9	25.8	22.7	45.2	△1.7	35.5	△14.5	19.4	16.2
	(靴下)	14	35.7	2.4	50.0	△16.7	14.3	14.3	35.7	△17.6	57.1	10.5	7.1	7.1
	木材・木製品	17	29.4	△1.8	41.2	△27.6	29.4	29.4	47.1	△9.2	23.5	△20.2	29.4	29.4
	化学・医薬品	10	80.0	△10.9	10.0	0.9	10.0	10.0	80.0	16.4	0.0	△36.4	20.0	20.0
	プラスチック製品	22	36.4	1.4	50.0	△5.0	13.6	3.6	59.1	△0.9	36.4	6.4	4.5	△5.5
	金属製品・非鉄	17	58.8	△0.3	23.5	△17.4	17.6	17.6	70.6	△2.1	17.6	△9.6	11.8	11.8
	機械工業	9	55.6	△11.1	33.3	0.0	11.1	11.1	77.8	△2.2	22.2	2.2	0.0	0.0
	その他の製造業	29	37.9	△8.7	51.7	5.1	10.3	3.7	69.0	5.6	20.7	△9.3	10.3	3.7
種	非製造業	157	43.9	4.4	43.3	△14.3	12.7	9.9	59.9	9.6	32.5	△14.4	7.6	4.8
	卸売業	32	28.1	3.1	62.5	△12.5	9.4	9.4	50.0	7.5	43.8	△13.8	6.3	6.3
	小売業	19	36.8	△13.2	52.6	6.8	10.5	6.4	57.9	7.9	42.1	△3.7	0.0	△4.2
	建設業	42	57.1	4.6	26.2	△18.8	16.7	14.2	76.2	11.2	14.3	△18.2	9.5	7.0
	不動産業	12	16.7	△8.3	58.3	△16.7	25.0	25.0	25.0	△8.3	58.3	△8.3	16.7	16.7
	運輸業	9	44.4	△19.2	11.1	△25.3	44.4	44.4	77.8	△13.1	11.1	2.0	11.1	11.1
	ホテル・旅館	11	63.6	0.0	36.4	9.1	0.0	△9.1	54.5	9.1	36.4	△9.1	9.1	0.0
	サービス業	12	58.3	36.1	33.3	△38.9	8.3	2.8	83.3	27.8	8.3	△30.6	8.3	2.8
	その他の非製造業	20	45.0	16.4	55.0	△11.7	0.0	△4.8	45.0	21.2	50.0	△21.4	5.0	0.2
	従業員数	1~9人	63	7.9	3.2	77.8	△8.2	14.3	4.9	19.0	△4.4	68.3	1.1	12.7
10~19人		57	26.3	7.8	54.4	△25.2	19.3	17.4	57.9	7.9	31.6	△16.6	10.5	8.7
20~49人		82	45.1	△1.8	30.5	△20.6	24.4	22.3	73.2	9.6	14.6	△19.7	12.2	10.1
50~99人		50	58.0	7.1	30.0	△19.1	12.0	12.0	72.0	3.6	14.0	△17.6	14.0	14.0
100人以上		61	80.3	△2.5	16.4	0.7	3.3	1.9	73.8	2.3	21.3	△5.8	4.9	3.5

「あり」「なし」の全産業平均を10ポイント以上上回る比率の部分に網掛けしている

2. 人材確保の状況【2018年度】

■希望通りの採用ができていない企業は全産業で3割、特に非製造業で前年度比+13.3ポイントと改善

図表5を見ると、新卒採用での人材確保の状況は、「希望する人材を十分な人数分だけ採用できている」が32.3%と前年度比9.5ポイント上昇した。内訳は製造業が33.9%（前年度比+4.4ポイント）、非製造業が30.0%（同+13.3ポイント）と、特に非製造業で人材確保状況が改善し、「必要人数は採用できているが、希望する水準の人材を採用できていない」が12.5%（同△25.0ポイント）と大幅に低下した。

一方、中途採用については、全産業では「希望する人材を十分な人数分だけ採用できている」が20.6%（同+3.1ポイント）で、製造業が22.4%（同+1.5ポイント）、非製造業が18.1%（同+4.6ポイント）と、新卒採用と比較すると水準は低く、前年度比は小幅上昇となっている。

3. 中途採用で重視する項目

■「熱意・意欲」を求める企業が最も多い

図表6を見ると、中途採用で重視する項目は「熱意・意欲」（61.0%）が最も多く、「行動力・実行力」（49.5%）、「職務経験」（47.6%）が続く。製造業では、前年度3位だった「専門的知識・技能」（前年度比△12.9ポイント）が8位に後退、代わって「行動力・実行力」（同+5.5ポイント）が前年度5位から2位に浮上している（図表なし）。一方、非製造業では、順位は低いものの「賃金水準（人件費負担）」（同+7.3ポイント）が前年度より上昇している。

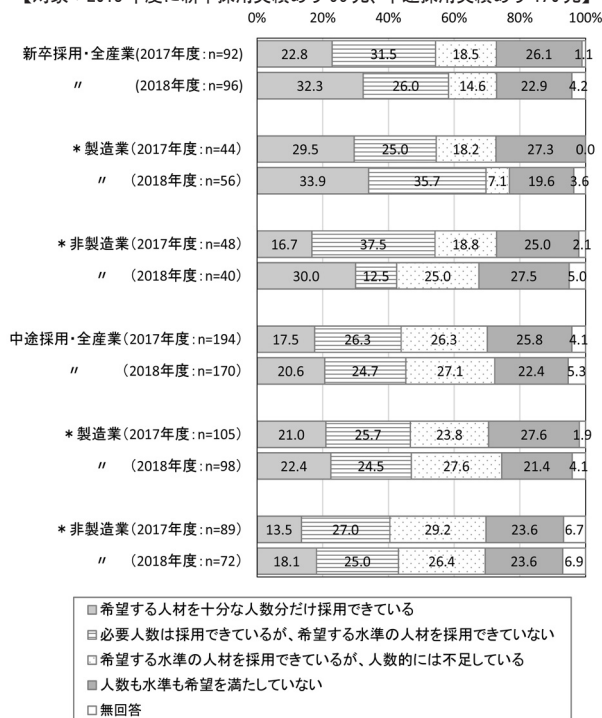
4. 2019年度採用計画人数増減【2018年度実績比】

■非製造業で採用規模拡大の動きがみられる

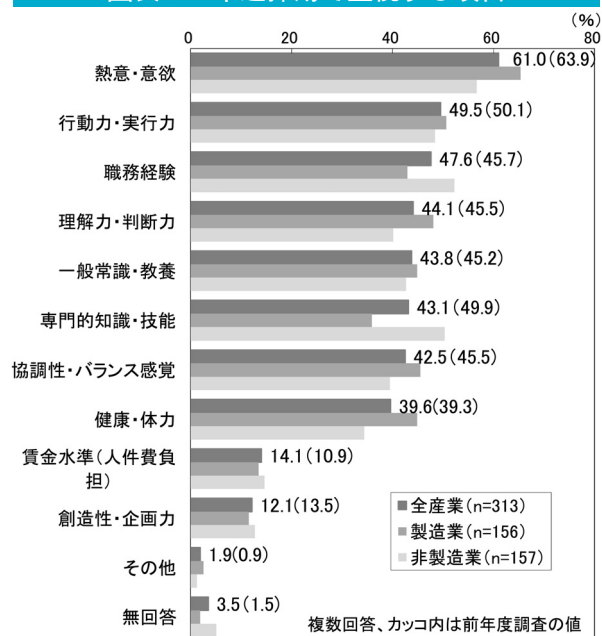
図表7で2019年度の採用計画全体を見ると、全産業では「増加」が34.6%（前年度比+1.1ポイント）、「変化なし」が49.6%（同+3.5ポイント）、「減少」が9.8%（同△3.2ポイント）となっている。

図表5 人材確保の状況【新卒採用・中途採用】

【対象：2018年度に新卒採用実績あり96先、中途採用実績あり170先】



図表6 中途採用で重視する項目



新卒採用は、「増加」が全産業で28.9%（同△2.1ポイント）、製造業で24.2%（同△5.1ポイント）、非製造業で33.3%（同+0.5ポイント）

と、製造業で採用規模拡大の動きが減退している。

中途採用は、「増加」が全産業で38.2%（同+2.8ポイント）、製造業で33.7%（同△1.3ポイント）、非製造業で42.6%（同+6.6ポイント）と、非製造業での採用規模拡大の動きがみられる。

図表7 2019年度・採用計画人数の増減

【対象：2019年度に求人計画のある企業208先】（%、ポイント）

採用計画人数全体	企業数	増加		変化なし		減少		無回答	
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比		
全産業	208	34.6	1.1	49.0	△0.5	9.1	△0.7	7.2	0.1
業種									
製造業	104	30.8	△2.8	48.1	△0.7	14.4	3.5	6.7	0.0
非製造業	104	38.5	5.1	50.0	△0.5	3.8	△4.7	7.7	0.1
従業員数									
1～9人	13	15.4	△4.6	69.2	9.2	0.0	0.0	15.4	△4.6
10～19人	37	43.2	13.6	37.8	△14.0	5.4	5.4	13.5	△5.0
20～49人	64	26.6	△4.1	56.3	1.6	10.9	4.3	6.3	△1.8
50～99人	42	38.1	4.8	47.6	△3.5	7.1	△4.0	7.1	2.7
100人以上	52	40.4	△1.6	44.2	5.5	13.5	△5.9	1.9	1.9
新卒採用数									
全産業	135	28.9	△2.1	60.7	3.5	8.1	△2.2	2.2	0.8
業種									
製造業	66	24.2	△5.1	62.1	3.5	10.6	△0.1	3.0	1.7
非製造業	69	33.3	0.5	59.4	3.7	5.8	△4.2	1.4	0.0
中途採用数									
全産業	186	38.2	2.8	54.8	△0.4	5.4	△0.9	1.6	△1.5
業種									
製造業	92	33.7	△1.3	54.3	△1.0	9.8	2.0	2.2	0.2
非製造業	94	42.6	6.6	55.3	0.3	1.1	△3.4	1.1	△3.4

5. 2019年度採用計画での主な求人目的（複数回答）

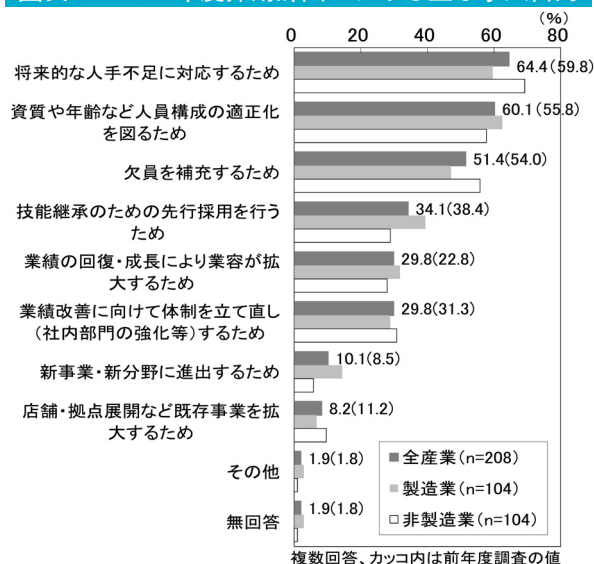
図表8で主な求人目的を見ると、全産業では「将来的な人手不足に対応するため」64.4%（同+4.6ポイント）が最も多く、「資質や年齢など人員構成の適正化を図るため」（以下、「人員構成の適正化」）60.1%（同+4.3ポイント）、「欠員を補充するため」（以下、「欠員補充」）51.4%（同△2.6ポイント）と続く。

製造業では「欠員補充」が前年度比△12.5ポイントと大きく低下し、「人員構成の適正化」（同+8.7ポイント）が上昇。また、水準は低い「業績の回復・成長により業容が拡大するため」（同+9.9ポイント）も上昇した。非製造業では「欠員補充」（同+8.2ポイント）が上昇。

6. 総括

①2018年度の新卒採用実績は、製造業は前年度より高まったが、非製造業はやや低調となった。また、業種全般にわたって前年度より「採用実績なし」が減少する一方、「無回答」が大幅に増加している点については、一旦採用したものの自社に定着せず、早期に離職されるケースも

図表8 2019年度採用計画における主な求人目的



あったのではないかと推測される。

- ②新卒採用の人材確保状況は、希望通りの人数・人材を確保できている企業が特に非製造業で前年度より増えたが、水準は製造業よりやや低調である。
- ③2019年度の求人計画は、製造業より非製造業で積極的に取り組む姿勢がみられ、特に中途採用の求人を計画している企業が前年度より大きく増加している。
- ④中途採用で重視する項目は、製造業では「専門的知識・技能」が前年度より後退し、代わって「行動力・実行力」が浮上しており、変化の激しい経営環境に即応できる人材ニーズが高まっているのではないかと推測される。
- ⑤2019年度採用計画人数を増加（採用規模を拡大）させる企業の割合は非製造業で高まっている。また、求人目的については「欠員補充」が製造業で減少、非製造業で増加している。

以上より、今回の調査では特に非製造業で人材ニーズが高まっていることが確認された。昨年秋の入国管理法の改正で、外国人労働者の受入れが14業種で認められるようになった。逼迫した県内雇用環境にどのような変化を及ぼすのか、注意をもって見守っていきたい。（前田 徹）